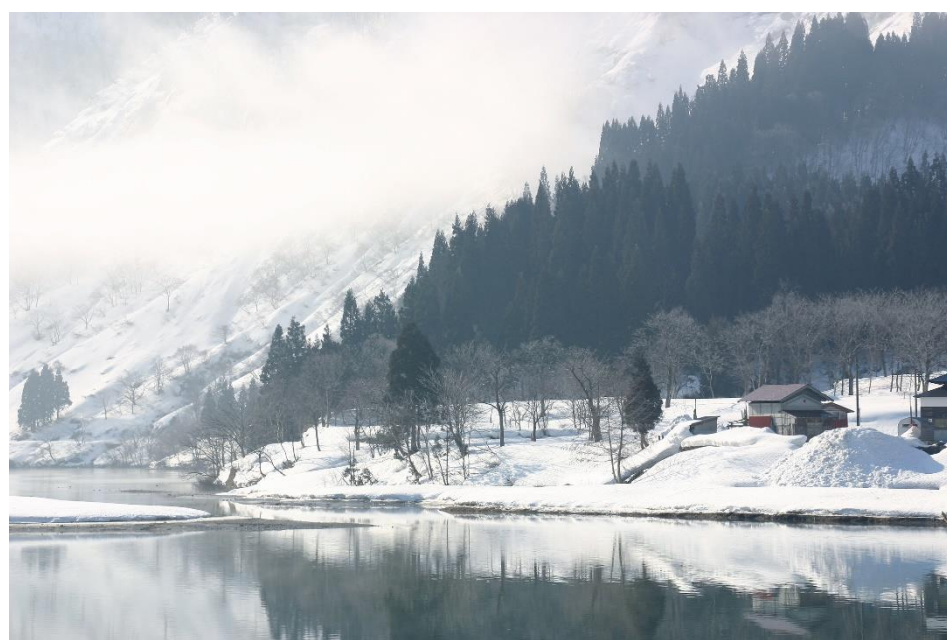


自然首都・只見

冬の暮らし方
ガイドブック
2022



発行者

只見町役場 地域創生課 創生企画係

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2591-30

電話 0241-82-5220 Fax0241-82-2117

URL : <https://www.town.tadami.lg.jp/>

E-mail : kikaku@town.tadami.lg.jp

【ごあいさつ】

只見町は日本屈指の豪雪地帯で、毎年平均 2～3m雪が積もります。
毎年 2 月に県内最大のイベントになっている「只見ふるさとの雪まつり」は、巨大な雪像をバックに冬の花火を楽しめる雪国ならではの楽しみです。



一面の雪景色はとても綺麗ですが、実際に暮らしていくとなると大変な面もあります。この冊子では、これから移住をお考えの方、只見に移住して間もない方へ、冬に備えてどのような準備が必要か、何をすれば良いのかをご紹介します。と思います。

【只見町はどのくらい雪が降るの？】

只見町の年間降雪量は、平均で、1,294cm にもなります。
ちなみに、札幌市で平均 597cm、会津若松市で平均 478cm です。

早い年で 11 月下旬から雪が降り始め、日陰だと 4,5 月頃まで雪が残ります。
大雪の日は、1 日で 80cm 以上雪が積もったりもします。
ただ、冬の間毎日雪が降っているわけではなく、晴れて陽が差す日もあります。



只見地区民家 冬晴天時



只見地区民家 積雪時

晴れた日は、気分も上がりホッとしますが、陽が差し気温が上がると、屋根に乗っている雪が一気に落ちるので、軒下近くを通る時や、除雪作業では注意が必要です。町の防災無線でも冬の晴れた日には、注意喚起の放送がありますので、気を付けましょう。

【衣類】

冬用の長靴

雪国では必須の装備です。ホームセンターに行くと多くの種類の長靴が販売されています。靴底の溝が深いものやスパイクつきの長靴は歩くときや除雪の時安定します。厚手の靴下やオーバースボンを履くので少し大きめの長靴がいいです。



ちなみに雪道の歩き方のコツです。

1. 長靴、スノーブーツ等 滑りにくい靴を履く。
2. 歩幅を狭く、穏やかに歩く。
3. 靴底全体で路面を捉える。
4. 両手を空けておく（ポケットに手を入れない）。
5. 路面だけでなく屋根からの落雪にも注意して。

除雪用ジャケット、ジャンパー

冬場は雪が降る日が多いですし、雪の中除雪しなければいけない日が多いので温かく、防水(透湿性)性、耐久性の高いものを選んでください。毎年購入するものではないのでじっくり選んでみてくださいね。



【雑貨類、食材の買い置き】

只見町は豪雪地帯ですが、大雪で物流が滞ることはあまりありません。雪が降っていてもスーパーには食料品が並びますし、ネット通販で頼んだものも大幅な遅れもなく届きます。ただ、移住してきて大雪の日に運転をするのは不安があると思うので、大雪が続くような予報の時は、事前に買い出しに行っておくと安心かと思います。また、各地区で移動販売もあります。



【生活】

グリーストラップ清掃



合併処理浄化槽を設置する場合、また生活雑排水を農業集落排水施設へ流す場合は、公共排水路へ放流する手前に阻集器（グリーストラップ）が設置されます。グリーストラップは汚泥や油脂等を抜き取るため少なくとも年 1 回 清掃が必要です。法律で合併処理浄化槽の清掃、点検が義務付けられていますし、冬になってグリーストラップの詰まりに気が付いても、雪の下では清掃が難しくなるので、降雪前に済ませておくことをお勧めします。

問い合わせ先：町民生活課町民係(0241-82-5110)

凍結防止の準備



凍結防止 外部

外気が-4度以下になると水道管の凍結や蛇口の破裂が多く発生します。 天気予報で低温注意報が発表されたときは注意して下さい。凍結防止効果を高めるために保温材とともに凍結防止ヒーターが取り付けられている場合、電源プラグ、スイッチを確認して下さい。

凍結防止 内部

外気が-4度以下になる日は、水抜き栓がある場合は寝る前に水抜きをしたほうが良いです。Youtube などで検索すると詳しい水抜きの仕方が載っていました。水抜き栓がない場合は、 蛇口や水道管が凍らないように少量の水を出しておく方法もあります。



浴室カラン等の凍結防止に、凍結防止ヒーター（発熱ベルトをカランに巻く）もあります。サーモスタット機能があり約 3 度以下で自動通電し、約 10 度を超えると通電停止するタイプが経済的です。

蛇口や水道管の破裂

もしも蛇口や水道管が破損してしまったら、水道メーターボックス内の止水栓を閉めて水を止めてください。水道メーターボックスが雪の下で見つからないときには、破裂したところをタオルやテープなどでしっかり巻き、水が吹き出るのを止める応急措置を行ってから町の給水指定業者に連絡をしましょう。

【車のこと】

確実に車に入れておきたい用品



- 1.スノーブラシ(ヘラが付いているものがお勧めです)
 - 2.スノースコップ(小さめでok)
- *大きさを比較するために携帯電話と一緒に撮影しています。

車に入れておくと安心な用品

- 1.ブースターケーブル(バッテリー切れの時用)
- 2.ライト(ヘッドランプは両手が使えるのでお勧め)
- 3.牽引ロープ
- 4.解氷スプレー
- 5.毛布(緊急時の保温として、タイヤすべり止め 車脱出用下敷きとして)
- 6.スノーヘルパー(タイヤすべり止め 車脱出用マット)
- 7.冰雪用ゴムハンマー(ホイールハウス内側に付着した氷塊を落とす)



スタッドレスタイヤ



初雪が降る前にスタッドレスタイヤへ交換しましょう。車好きな方なら自分でもタイヤ交換はできますが、自動車整備会社やガソリンスタンドへお願いするなら、交換時期の目安は初雪が降る1か月前あたり(只見町では11月上～中旬)がおすすめです。



冬用ワイパー

冬用ワイパーは、ブレードへの雪の入り込みを防ぐために金具部分をゴムで覆い、凍結しにくくしています。冬用ワイパー価格は2,000円～5,000円程度で、寿命は1シーズン～2シーズンが目安です。

長い間駐車するときは、ワイパーを倒したままにしておくと、車の熱で溶けた雪が再凍結してワイパーがフロントガラスに凍りついてしまいます。ワイパーフレームを包むゴムが破れてしまうので、ワイパーを立てておきましょう。



バッテリー電圧の確認

気温が下るとバッテリー内部の化学反応が弱まり電圧が低下します。しかし冬は「エアコンファン」や「リアウインドーの曇り止めの熱線」等を使用する機会が多く、能力の低下したバッテリーでは充電が間に合わずバッテリーが上がってしまいます。冬前に、バッテリーの電圧点検してもらうことをおすすめします。

凍結防止ウインド ウォッシャー液

氷点下でも凍結しないタイプのウォッシャー液は 2ℓ 500～1,000 円程度のものが販売されているので、行きつけのガソリンスタンドで尋ねれば地域でポピュラーな商品を教えてくれると思います。



換気の確認

シャッターを閉めたガレージ等で、エンジンをスタートさせる場合、一酸化炭素中毒を引き起こす可能性があるので、必ず換気の確認をしましょう。また外に駐車している車のエンジンスターターを使うときは、車の排気口を雪が塞いでいないことを確認しましょう。

サイドブレーキ凍結

気温が下がるとサイドブレーキを引っ張るワイヤーが凍りついて、ブレーキ解除ができなくなることがあります。オートマチック車は P レンジに、マニュアル車の場合は 1 速ギアかバックの状態ですらいます。この場合は車止めの設置をして下さい。



4WD 車の方がよい？

できるなら、4WD 車の方が安心かもしれません。只見の中だけなら、よっぽどの大雪でなければ 2WD 車でも大丈夫かなと思いますが、隣町に行くために峠を越える際や、大雪の日は町内でも不安な時があるかもしれません。

【雪道の運転】

危険な場所

- ・トンネルやシェットの出入り口（車が雪を落とし、風の通り道で路面が凍る）
- ・橋の上（道の下が空間になっていて地熱が逃げて路面が凍りやすい）
- ・日陰の道路（気温が下がるために路面が再凍結する）
- ・峠道（標高が高く、風が強いため凍結する）
- ・カーブ（カーブに入ってからブレーキは駄目）



危険な路面

- ・除雪が終わった直後の道路はツルツル。
- ・気温 0 度前後の凍結路面は、特に滑る。
- ・目の前にアイスバーンを発見したら、アクセルから足を離して（ブレーキを踏まない）、突っ切るのが安全。
- ・ブラックアイスバーン（道路上で融けた水が再び凍ったもの）は、見た目は分かりにくく、夜間は特にわかりにくい。気温が低くなると路面が黒く、凍っていないように見えても表面の水分が凍結した状態になりスリップ事故が起きやすい。
- ・雪の轍は危険！轍の上でスリップしやすい。



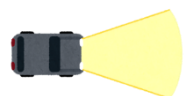
危険な天候

- ・ホワイトアウトは、林が途切れたところやトンネルの出入り口、坂の頂上で起きやすい。
- ・突然視界が閉ざされた時は、アクセルから足を離して、そのまま進行。
- ・吹雪の時は前車のテールランプが見え隠れするくらいで、追従する。
- ・やむなく停止する時は、左に寄ってハザードランプを点灯。
- ・吹雪の時は、道路と雪壁との際にある雪粒にライトが当たった反射光と影を見ながら、自分の車の位置を確認する。



走行時の注意

- ・雪の降っているときは昼間でもライトを点灯する。
- ・雪に埋もれた側溝やガードレールがあるので道路の端を走らない。
- ・カーブや下り坂の手前では必ず減速する。
- ・前車のブレーキランプを見たら、すかさずスピードを落とす。
- ・急発進、急ブレーキ、急ハンドルは厳禁！



【除雪】

雪囲い

積もった雪や、屋根から落ちてきた雪で窓ガラスが割れてしまうことや、屋根から落ちた雪が跳ねて、窓ガラスを割ることがあります。それを防ぐために板で窓を覆っています。



板の雪囲い



透明な波板の雪囲い

雪が降る前に確認！

雪が降る前に除雪しなければいけない範囲を確認しておきましょう。

＊まず、除雪した雪を捨てられるスペースを確認します。

敷地内に除雪した雪を捨てられない、またはスペースが足りないときは近隣の方や区長に相談しましょう。除雪した雪は道路に捨てることはできません。

また人の土地に勝手に雪を捨てるのはマナー違反です。

＊雪は降った直後は軽く、柔らかです。降ってから時間がたつとともに重く、硬くなります。こまめな除雪がおすすめです。

除雪車

- ・10cm 程度の積雪があると、町が行う除雪車さんが出動してくれます。
- ・朝 7 時頃までに除雪してくれるので朝の出勤時間帯には道路は整備されています。日中も雪が降り続けるときは 12 時～16 時頃を目安に除雪してくれます。
- ・除雪作業中は前進、後進を繰り返すので、除雪車の通過直後に近づくのは危険です。
- ・除雪車の追い越しは禁止ですが、除雪車オペレーターさんが合図を出してくれるので、その場合は徐行、注意しながら通行して下さい。



融雪溝（雪の塊を流して排雪する施設）



＊融雪溝の使い方ルールが決まっているところもあるので
使い方について近隣の人や区長に確認して下さい。

＊融雪溝を使わない時は、必ず蓋を閉じて下さい。除雪車
が蓋をひっかけて壊してしまいます。人も誤って落ちてし
まうので危険です。

除雪に必要な道具

無くては困るもの

・スノースコップ

除雪の基本ツールです。プラスチック製スコップとアルミ製スコップがあります。プラスチック製スコップは軽く使いやすいですが、アルミ製と比較すると耐久性は落ちます。先端にスチール製のブレードつけて強度を上げたタイプもあります。



・スノーダンプ

プラスチック製のものは軽く、女性でも簡単に
使えることからママさんダンプと呼ばれ、よく
見かけますが、豪雪地帯では耐久性を考え
スチールかステンレスの頑丈なスノーダンプ
がお勧めです。



あると助かるもの

・家庭用除雪機



「除雪機」があれば素早く、楽に除雪できます。でもと
ても 高価です。近隣の方に冬の状況を確認し、除
雪機の雪の放出先なども検討してみてください。購入
する場合は、地元で評判の良い除雪機の販売代理
店に相談してみることをお勧めします。

業者さんに除雪をお願いするなら…

雪の降る前に、除雪をお願いする方へ自宅周りの現場調査をしてもらってください。
雪が積もってからだと、障害になるものがどこにあるのか分からず、除雪機を入れる
ことができないからです。



屋根に注意

地表と軒先がつながると、屋根が壊れることがあります。
こうなる前に、こまめに除雪することが大切です。

移住したばかりで、除雪になれていない方には、
「除雪支援保険事業」への申し込みをお勧めしています。
あくまで個人住宅の地表と軒下が繋がらないようにする除雪
のみになりますが、1 シーズン 66,000 円で事業者さんに除
雪をお願いできます。(利用料金の助成もあります。)



屋根に雪が乗っているときに、その下に入るのは危険です



1. 屋根に雪が乗っているときは、原則 その下には入らない。
2. やむを得ず通るときは、頭上に注意して素早く通過しましょう。
3. 晴れて、温度が上がった日は危険性が高まります。

屋根が低くても安全ではありません。屋根の雪が落ちてから作業しましょう。



屋根に上がって除雪するのは危険です



屋根が低かろうと高かろうと、屋根に上がって雪を降ろすのはとても危険なことです。雪の扱いに慣れた地元の方でも、屋根の雪降ろし作業中に事故にあった話を聞きます。屋根の雪降ろしには、雪にも作業にも慣れた方をお願いすることを強くお勧めします。

冬の楽しみ紹介

スノースポーツなどはもちろんですが、只見町ならではの冬の伝統的な楽しみを紹介します！



さいごに

雪景色はとっても綺麗ですが実際住むとなると大変なこともあります。只見町はみなさん近所で声を掛け合いながら助け合っています。困ったことがあったら、区長さんや近所の方に聞いてみましょう。移住コーディネーターに聞いてもらっても大丈夫です。雪を乗り越えて、厳しい冬があるからこそ生まれる四季の美しさを堪能しましょう！



